

東由利町報

No. 269 昭和52年12月1日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1・15日発行



生活

営農メモ

冬を健康に過ごすには、何よりも軽い運動でからだを鍛え、寒さに慣れることが大切です。また、次のことには特に注意しましょう。

◎上手な重ね着で暖かく

清潔な肌着は保温効果が良いものです。着る順序は、先ず綿のシャツ、次に薄手の化繊シャツ、そして暖かい空気を保つ毛糸類、一番上に空気の通りにくい布地の上衣を重ねます。

◎室内の極端な湿気や乾燥に注意

アルミサッシや新建材は空気の流通が悪く、暖房等で炭酸ガスが充満しやすいものです。したがって、頭痛やノドの痛み、鼻カゼの原因にもなり、また、押入れや戸棚の中は湿気でよごれますので、換気は十分に行いましょう。

◎カゼは万病のもと

生活が忙がしくなりますので、休養に心がけ、カゼをひかないように注意しましょう。カゼは万病のもとです。

(東由利町農業総合指導センター)

No. 269

12 / 1

理に厳しい指摘

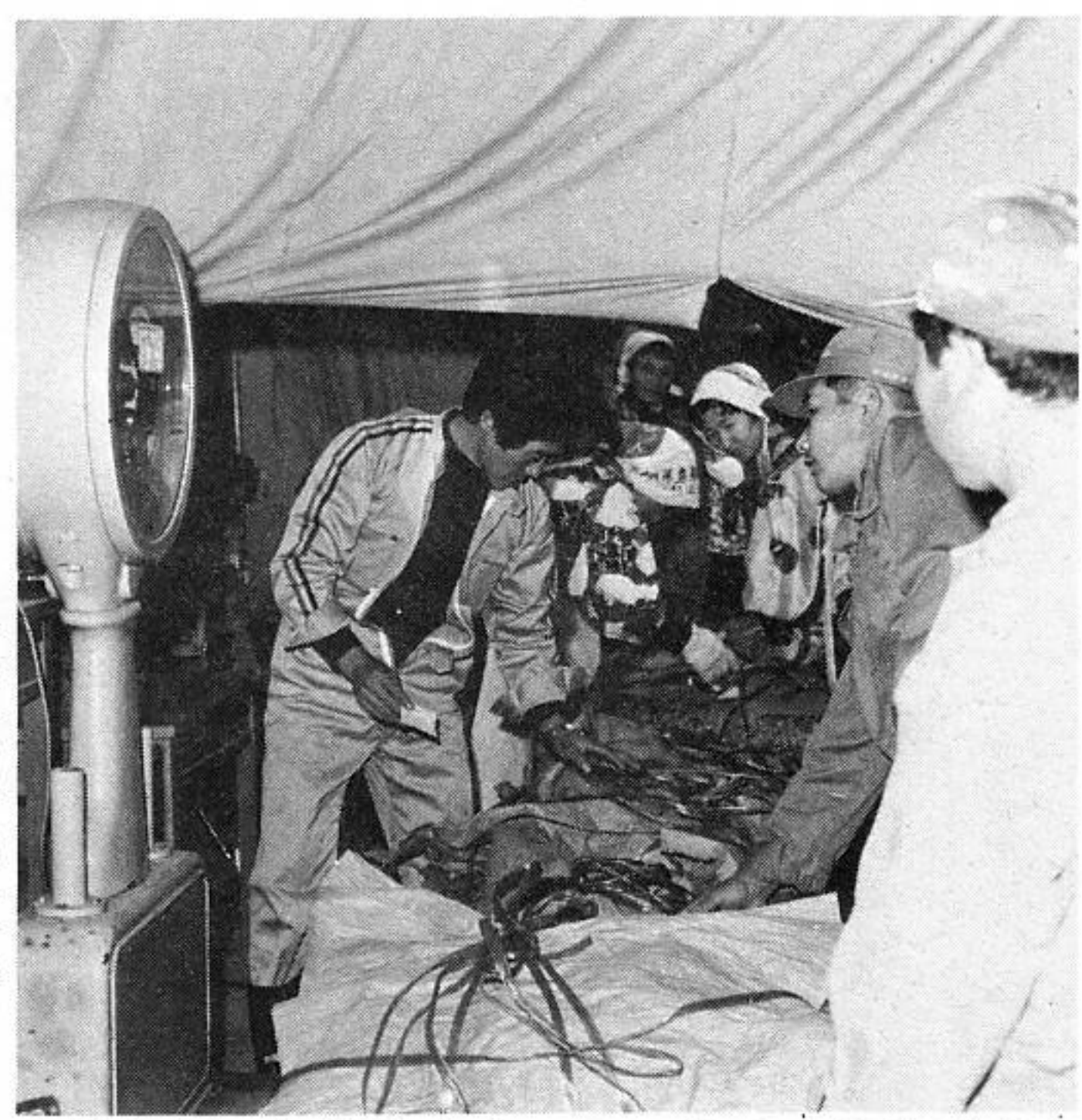
バコの収納終わる

今年、町内では、一一九戸の農家が葉タバコを栽培し、作付け総面積は三〇・九畝に及んでいます。

葉タバコは、販売ルートに心配がなく、価格が安定、保障されていることから、町内でも拡大作目として栽培面積、農家数とも年々増えてきており、今年も昨年比べて、面積が三・二畝、農家数が八戸増えています。

横手葉タバコ収納所では、増田生産事務所管内のトップを切つて十一月十五日から収納が行われ、本町分は同日から五日間にわたつて収納されました。

その結果によると、本町から出荷された葉タバコの総量は八万二千五百〇余りであり、金額



技術、管理に厳しい指摘を受けた葉タバコの収納を見守る生産者たち（横手葉タバコ収納所）

では九千七百五十五万五千円で、関係者が当初に見込んでいた「一億円突破」にはいたりませんでした。

一方、作柄を分析してみると七〇当りの標準収穫量（二百七十五〇）に達していないものが目立っており、等級も四等、五等の下位等級のものが多いう結果でした。

また、十〇当り販売代金の最高額は四十六万四千七百五十五円で大冷害に悩まされた昨年の最高額を下回っているほか、平均でも三十一万四千二百四十四円で昨年を八千四百円余りも下回っており、全体的にはやや不良であったと言えます。

この結果について、鑑定にあつた増田生産事務所の千田技術課長は、「葉タバコの耕作を基本的に考え直してもらわなければならぬ」と前置きして、「……たばこ作りは土づくりという原点にかえり、堆肥、厩肥堆肥の使い分けをきちんとしてもらい、金肥とのバランスをとつて晩作にならないようにしなければならぬ。また、収穫の際に未熟葉が多いことと、乾燥中の連間距離の操作、堆積中の手入れの不完全さが全体的に量目の低下、品質の低下の原因となつている。品質の低下は米年以降の作付け面積の確保にも

目立った過熱 胴割れ

農家個々が栽培の見直しを

今年、本町に割り当てられた政府米の買入限度数量は、四百七十七万七千七百九十五俵（七万九千五百俵）で、十一月中にほぼ検査を終了しました。

東由利農協農産課が十一月十九日現在でまとめたところによりますと、同日までの検査終了米は七万六千六百三十俵で、この等級別数量は二等米二千二百二十五俵、三等

米四万三千九百八十三俵、四等米二万九千六百三十五俵、五等米八千八百七十七俵となつており、三等以上の上位等級米は四万六千八百八俵で全体の六〇〇〇に占めています。

この上位等級米の割合は、大冷害に見舞われた昨年よりは良かったものの昨年（七〇〇〇）を大きく下回っており、今年の上位等級米の割合は低下し、農協各支所（倉庫）別の上位等級米の割合を見てみると、大琴、蔵の両倉庫は七〇〇〇、老方倉庫は六十〇〇、館合倉庫は五五〇〇、田代倉庫は五四〇〇となつています。

このように上位等級米が著しく低下した原因について、同課の佐藤課長は「……登熟にじつ

くり時間をかけたのは良かったが、刈り取り適期を失したため過熱や胴割れ米が目立った。また、昨年の冷害の教訓から作付けが多品種にわたつたのもその原因と考えられる。その上、基盤整備後二〜三年の水田は地力が著しく低下しており、これらが総じて今年の作柄の結果になつた……」と見えています。

上位等級米の割合は低下したものの、全体的にはほぼ昨年作でした。しかし、米年度以降は生産調整もさらに厳しくなる見込みですので、良質米の生産が一層要求されます。地力増強対策をはじめ技術、管理などに農家個々の栽培の見直しが望まれています。

52年産米 上位等級は60%

出かせぎ者の皆さんへ

町では、出かせぎされている方々に年末、年始の混雑した交通機関を避けてご家族と楽しい正月を過ごしていただくため、次により東由利―東京間の年末帰省バス、年始上京バスを運行しますので、ぜひご利用ください。

記

▽年末帰省バス

- 出発日（東京発） 十二月二十八日、二十九日、三十日の三日間。
- 乗車場所 東京都港区浜松町三―五 浜松町

▽年始上京バス

- 出発時間 午後七時（東由利町到着は翌日午前八時の予定）
- 出発日 昭和五十三年一月七日
- 乗車場所及び時間 次記の時刻でバス停留所より発車
- 舟木発 14時30分
- 大琴発 14時35分

バスターミナル

帰省バス・上京バス 運行のお知らせ

出かせぎ者の皆さんへ

町では、出かせぎされている方々に年末、年始の混雑した交通機関を避けてご家族と楽しい正月を過ごしていただくため、次により東由利―東京間の年末帰省バス、年始上京バスを運行しますので、ぜひご利用ください。

記

▽年末帰省バス

- 出発日（東京発） 十二月二十八日、二十九日、三十日の三日間。
- 乗車場所 東京都港区浜松町三―五 浜松町

▽年始上京バス

- 出発時間 午後七時（東由利町到着は翌日午前八時の予定）
- 出発日 昭和五十三年一月七日
- 乗車場所及び時間 次記の時刻でバス停留所より発車
- 舟木発 14時30分
- 大琴発 14時35分

技術管

葉夕

つながるので、もっと基本に忠実に真剣になつて勉強してほしい……と、技術、管理の不徹底を厳しく指摘していました。事実、葉タバコ栽培は昨年から作付け面積の生産調整が行われており、明年は本町にも○

七診が割り当てられています。今後、ますます品質の秀れた葉タバコの生産が要求されていくものと思われる中で、本町の生産者たちにとってはきびしい試練を迎えたと言えます。

蔵 発 14時40分
老方発 14時45分
玉米発 15時

田代発 15時20分
黒瀬発 15時30分
上野着(8日) 6時30分

創設三十年を祝う

本荘高校 下郷分校で記念式典

本荘高校下郷分校では去る十一月十九日、来賓や卒業生など約七十名のほか、百五十余名の在校生が出席して「創設三十年記念式典」を、盛大に挙行しました。

同校は、下郷、玉米両村の勤労青年の高等学校教育の場としての期待をうけて、昭和二十三年八月十九日に本荘高等学校の定時制分校として、老方小学校に併設して開校されました。

その後、昭和三十四年四月には旧下郷村役場を改造した独立校舎に移転。昭和四十五年には念願の新校舎が完成しました。しかし、この新校舎完成までの道程は決して平坦なものではな

式典では、君が代、校歌斉唱のあと、佐藤本荘高等学校長が「……生徒諸君は、当分校の三十年の歴史をよく省み先輩が重ねた数々の苦勞と多くの業績を偶びながら、輝かしいその歴史に新たな一頁を書き加えるよう努力を」。定時制から全日制に発展した今日、これまでの素晴らしい伝統の上に、更に新しい下郷分校の魂を吹き込んでいただきたい……とあいさつ、つづいて、これまでに下郷分校の発展に特に功績のあった方々に感謝状が佐藤校長からは小松町長、長沢議長議長ほか十三氏に、小松町長からは梅田勇元本荘高等学校長ほか三氏に、それぞれ贈られました。

※申込み期限 帰省バス十二月十日 上京バス十二月二十五日
※申込み先 役場 出かせぎ相談所へ
※乗車料金 帰省バス、上京バスとも五千九百円(五十三年一月五日、六日の両日中に納付していただきます。)

く、まさに苦節の二十二年でありましたが、その自由な中にも果立った卒業生たちは、勉学はもとより、文化、体育活動においても全国レベルで輝かしい成績を残しています。また、昭和五十年四月には定時制課程から全日課程の分校に移

なお、創設三十年を記念して記念誌と卒業修了者名簿が発行されました。

読書感想文を募集
本荘市立図書館では、次の要領で読書感想文を募集しています。



祝 秋田県立本荘高等学校 下郷分校創設30年記念

創設三十年を期に新しい発展を……

また、昭和五十年四月には定時制課程から全日課程の分校に移

- ① 応募資格 本荘市由利郡民で中学生、高校生を除く。
- ② 課題図書 ●石川正一著「たとえばくに明日はなくとも」 ●子安美知子著「ミュンヘンの小学生」 ●夏目漱石著「三四郎」 ●有島武郎著「生れ出づる悩み」 ●壺井栄著「二十四の瞳」 ●中上健次著「枯木灘」の中から一編を選んで。
- ③ 原稿の長さ 四百字詰原稿用紙五枚。
- ④ メ切り日 53年1月21日
- ⑤ 原稿の提出先 本荘市立図書館「読書感想文募集係」宛

交通事故をなくし 明るい年末を

年末の交通安全運動

12月1日～12月10日

ゆとりで走ろう





「未来の力、を健やかに……」

一丸となつて健全な育成を

『高校生を持つ親の会』結成

ここ数年来の急激な社会構造の変化によって、青少年をとりまく生活環境は年々変わっており、特に、不健全要素は年ごとに増加しています。

これらは、総じて高校生の健全な成長のためには大きな粗害であり、高校生をとりまく生活環境は年々悪くなつていと言わなければなりません。

また、きびしい受験体制は高校生同志の連帯意識を希薄にし、協調性を喪失させるなど「心の荒廃」をまねいており、——うれしい時には大声で笑い、喜び悲しい時には泣ける——というノーマルな人間形成から遠ざけている一面もみられます。

現在、町内には二百八十九名の高校生がいます。この高校生をより健全に、より人間的に成

長させていくためには、この高校生を持つ親たちが学校という枠をこえて、お互いに心を通じ合い、共通の問題として取りあげて、地域と一丸となつてこの問題に取り組んでいかなければならないと言えましょう。

町教育委員会では、高校生を持つ親たちが同じテーブルに着き、問題を話し合う場として「高校生を持つ親の会」を結成するべく本庄高校下郷分校、東由利中学校との間で数回にわたつて協議を重ねてきましたが、その話し合いが煮つまり、先ごろ結成大会を開き「東由利町高校生を持つ親の会」が、正式に誕生しました。

大会は、十一月十一日午後一時から有隣館で行われ、経過説明、会則審議、役員選出等を行

問題とされていること、今後の課題とされることなどについてそれぞれの立場から明らかにしました。

同会は、今後次のような事業を持ち、高校生と親や地域、学校との結びつきを強力することによって、町内の高校生の健全な育成のために活動をすすめることになっていきます。

- ① パネルデスカッション
 - ② 講演会
 - ③ 映画会
 - ④ 高校生のつどい（球技大会 キャンプ等）
 - ⑤ 親子のつどい
 - ⑥ 座談会（中・高校生徒指導 担当教師との話し合い）
 - ⑦ 高校生の地域行事への参加
 - ⑧ 地域相談事業
 - ⑨ 会報の発行
- なお、会長には鈴木健氏（蔵新田）が、副会長には小松賢氏（石高）と小松久隆氏（宇戸板）が、それぞれ選出されました。



表紙のことば

「日ごろ、交通事故の防止などでお世話になつておるおまわりさんに、お礼を——」と、みどり保育園の園児代表と、東由利警察官駐在所を訪れ

した。荒川所長と七尾巡査の出迎えを受けた園児たちは、声をそろえて「おまわりさん、毎日のお仕事ご苦労様です。ぼくたち（わたしたち）も交通事故に合わないよう気をつけます」と言つて、花束を手渡しました。両警察官を大いに感激させました。みんながルールを守つて交通事故をなくしましょう。

町長日記

○ 11月1日、開発センターのオープン。待つてましたとばかりの利用申し込みに、工事担当職員の苦勞も報われた感じである。

○ 中国の古い言葉に「徳は孤ならず、必ず隣有り」というのがあります。これは——人間の徳性は、必ず理解してくれる隣人がおるものであつて人は孤独なものではない——という意味であり、現在のコミュニケーションという言葉の意匠に通じるものがあります。町民のコミュニケーションの場である開発センターに「有隣館」と命名した次第であります。

○ 11月3日には、本町の民謡同好会が他町村の同好者の参加も得て発表会を持った。民謡は、歌い継がれた民族の情感である。特に東北の民謡には切々たるものがあります。同好会の研鑽と発展を期待します。

○ 11月4日より、生活・文化、農業祭がはじまりました。児童生徒の発明工夫展、後継者が中心となつた農業祭、写真、俳句、書道展にみられる文化性、衣服、手芸、消防防災展等。

○ 法内集落農場組合が、農林大臣表彰、知事表彰を受ける。克雪センターで披露の会がありました。今後の本町の農業施策のモデルであり、パイロットである意味でも評価されなければならぬと考えます。

○ 全国山村振興連盟という組織があつて、県にはその支部がある。行政上山村という定義は、その町村の土地面積の75%以上が山林であるということである。経済面、文化面が低いのでレベルアップ仕様という組織であり、国に山村振興法をつくらせ現在に至つておる。県の支部構成員で北山磨丸太の産地である京都北山地帯を視察する。

○ 山地の60—70%を磨丸太向きに傾斜した山容はまことに美事であり、地場産業の育成は長い年月を経て始めて可能であることが沁々実感させられた。約四寸経十尺のしぼり丸太が現地で約二万円。

いよいよ雪の季節です

除雪対策に万全な計画

全町民に協力を要請

いよいよ「雪の季節」になりました。来年三月まで約四か月の間雪に閉ざされる本町では、私たちの生活や地域産業、経済活動に大きな影響を及ぼす交通路の確

保と雪害対策は、最優先事項として実施しなければならぬ問題です。町では積雪による交通の途絶や混乱を除くため、今年度も除雪対策には万全の計画で当たり

ます。

戦力は

一段と充実

除雪作業は、通学路およびバス路線を優先に、上記の計画図によって行われます。作業には十一名のオペレーター（運転手）が配されており、機械は今年度ローダーが一台増置されて、ブルドーザー四台、ローダー三台、ロータリー一台、雪上車一台、ドーザー一台、グレーダー一台、タンポトラック一台、計十二台を備え、戦力は

除雪には

みんなが協力を

一段と充実しています。降雪初期や雪消え時には、舗装道路の破損が考えられるため作業をひかえますが、そのほか降雪があった日には午前三時から除雪にあたり、交通路の確保にとめます。

降雪作業に際しては、毎年町民の皆さんにいろいろとお願ひしていますが、今年も次のような点についてご協力をお願いいたします。



除雪にご協力ください

除雪計画図

凡	A種路線及び 県委託路線	——
例	B種路線	——
	C種路線	----

除雪作業は、通学路およびバス路線を優先に、上記の計画図によって行われます。作業には十一名のオペレーター（運転手）が配されており、機械は今年度ローダーが一台増置されて、ブルドーザー四台、ローダー三台、ロータリー一台、雪上車一台、ドーザー一台、グレーダー一台、タンポトラック一台、計十二台を備え、戦力は

- 路上には違法駐車や故障車の放置はしないでください。
- 待避所は交通交差のためのものです。駐車場がわりにはしないでください。
- 除雪車は、前進後退をくり返すことが多いので、二〇以上の車間距離をとって停止してください。
- 除雪車は、雪を押ししているのでもいつ横滑りするかわかりませんので、ムリな追越しはしないでください。
- 除雪作業は、それぞれの目標物、標識を目標に作業をしているので、それを移動したり、変更したりしないでください。
- 皆さんが除雪した各戸の出入口に除雪車が雪を置いていく苦情はわかりませんが、公共性を考えて各戸で取り除いてください。
- 屋根の雪や宅地の雪は、道路に持ち出さないでください。

- 屋根の雪が道路に落ちる構造の方は、雪が落ちたときには自分で処理してください。
 - 道路上に置いてある建設、建築資材等は速やかに除去してください。
 - 歩道の除雪は、部落などで協力して行い、歩行者や自転車の安全を図ってください。
 - このほか、木の枝など除雪作業に支障のあるものについては係の職員が切り落としなどのお願ひにあらうこともありますのでご協力ください。
 - なお、除雪に関する問い合わせは建設課へ。
- 除雪にはみんなが協力し合っ
て、この冬を少しでも快適に過
ごせるよう心がけましょう。

役場で

特設人権法律相談所開設

このたび、秋田地方務局本荘支局および本荘人権擁護委員協議会では、次のことがらについて無料相談所を開設します。

- 土地、建物に関する登記問題
 - 親子、夫婦、扶養、相続等戸籍に関する問題
 - 地代、家賃に関する供託問題
 - 人権擁護に関する問題 等々。
- 相談事項はいつさい秘密に取扱われますので、気軽にご利用ください。

● 開設の日時

十二月九日（金）
午前十時～午後三時

● 開設の場所

東由利町役場

東由利町報 二六九 昭和五十二年十二月一日発行 昭和42年7月21日第三種郵便許可 発行 秋田県東由利町役場 毎月一日・十五日発行 一部20円 印刷 KK本間印刷所



町民のひろば

新有権者の感想文を募集

自治省と明るい選挙推進協議会では、成人を迎えた方または迎える方を対象に、新成人としての感想、考え方ならびに成人となった後に経験した選挙等で感じたことの感想文を、次により募集しています。

▽応募資格

昭和三十三年一月一日から昭和三十三年十二月三十一日までの間に生まれた方。

▽応募内容および標題

新有権者として、社会人と

「新企画」の

お知らせ

興味を持って生きている人は、人生を二倍楽しく生きることができると言われます。また、趣味はその人の心を豊かにしてくれるとも言われます。係では、新年号より趣味で楽しい毎日を過ごしている町民の皆さんを紹介する「好き

だから」(仮称)を、現在企画中です。

興味で楽しい毎日を過ごしているあなたやあなたの周りの人を、ぜひ係(役場、広報係)までお知らせください。電話、ハガキ、何でも結構です。年齢や性別、自薦、他薦は問いません。お待ちしています。



庄野かすみさん

玉米小学校六年の庄野かすみさん(下小路 五郎さん長女)は、先ごろ行われた全国珠算教育連盟主催の珠算検定試験で、

珠算一級に

庄野かすみさん(玉小)

みごと一級に合格しました。小学生で一級に合格したのは本町ではこれまで二人だけであり、かすみさんは三番目。現在の小学生の中ではただ一人だけです。かすみさんは、小学校三年生のときから珠算をはじめ、五年生で二級に合格しており、中学に入學するまでには段位を取得したいとして、いま一生懸命がんばっています。



結婚
おしあわせに

小野治一郎 袖下通
鈴木照子 山
島山金悦 寺賀保町
齋藤光子 仁賀保町



誕生
おめでとう

佐藤直美 高村 森雄 長女
石線沙織 大台 孝悦 長女
安倍 歩 家ノ下 孝志 長女
齋藤雄三 舟木 和正 三男
下田登和子 久保 悟 二女

慶弔

10月21日~11月20日

木島林 蔵 大雄館
木島キヨ子 岩
高野富男 高橋屋
高橋順子 横
浅田厚子 金浦町
齋藤厚子 金浦町

お悔み申し上げます
佐藤吉太郎 寺田 82歳
小野忠美 宿 70歳
鞆崎富造 家ノ下 79歳
高橋新次 松柴 69歳
小松タダオ 下通 75歳
小松三太三 下小路 74歳
工藤ナカ 中ノ沢 78歳

年末、年始は
あきすにご用心

食生活のしおり

とかくムダになりがちなのが正月用食品です。大量に買い込むときは、食品の性質や保存方法などを十分に考えてからにしましょう。

別容器へ

かん詰は一度開けると酸化がすすみます。使い残し、食べ残しは必ずガラスか陶製の容器に移しましょう。

とけた冷凍食品はすぐ料理を

あわてて冷凍庫に入れても、工場のような急速冷凍は無理。うっかりすると変質します。

直射日光は加工食品の敵

プラスチック容器に入った加工食品は、直射日光で変質します。油で揚げたものは特に注意しましょう。

サバの「生き腐り」

サバという魚は、見るからに青く、ピンと立っていても油断できません。いきがいいように見えても、腐り方は他の魚よりずっと早いのです。鮮度のいいうちに煮るか焼くかしましょう。

買ったものには日付を

製造年月日のない食品には、買った日付をマジックインキで

大量買いが損な場合も

生鮮食料品、いたみやすい加工食品、香りがとんでしまうような食品は、必要量に応じて買いましょう。



東由利町報

No. 270 昭和52年12月15日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1・15日発行



営農メモ

稲作

今年も余すところ残り少なくなり、年末を迎え今年の稲作を反省してみますと、苗代期の天候不順で一部苗不足をみ、また田植後の低温等で初期生育の遅れをみました。六、七月の高温多照により生育は順調に経過し、出穂も平年に比軽し五日前後早まる生育を経過しました。その後、八月下旬の低温少照により登熟は緩慢でしたが、九月以降の高温多照で回復しました。

しかし、刈り取ってみると、予想以上に収量のあった人、思ったほど収量がなかった人など、地域、個人差はありましたが、全体的には「やや良」の作況で経過したようです。

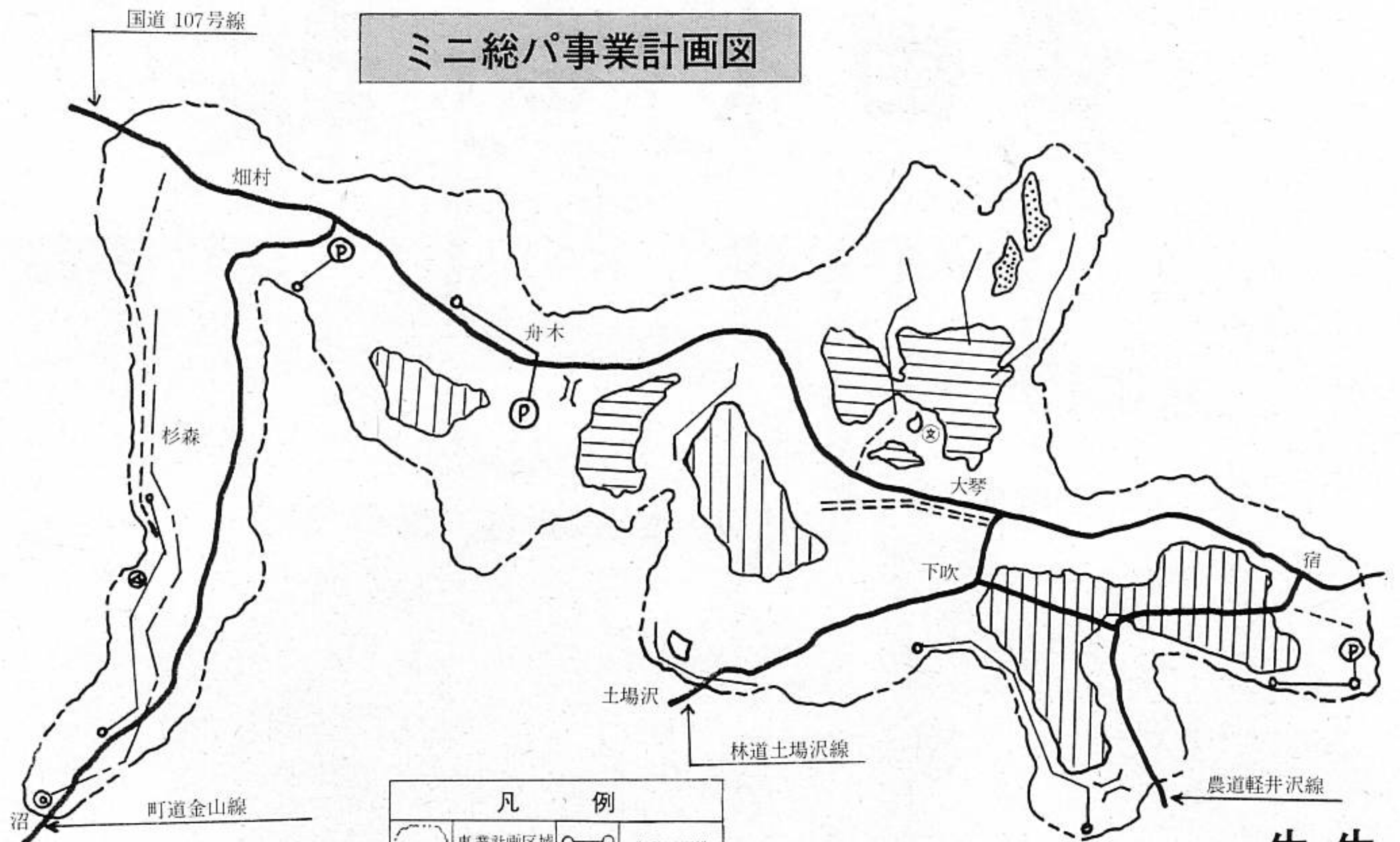
低収の要因を反省してみますと、苗質、密植、水管理に起因する穂数不足、穂もち病の発生、基盤整備後の地力の低力などが挙げられます。

今後予想されます異常気象下で、稲作の安定を図るためには、今年の稲作を充分に反省し、基本的技術を総合的に組合せることが最も大切です。

(東由利町農業総合指導センター)

No. 270

12/15



ミニ総パ事業計画図

凡 例			
○	事業計画区域	○	農業用排水施設
▨	ほ場整備	○P	集落排水施設
▧	農地改良	---	農業集落道整備
▩	農用地開発	---	官農飲雑用水施設
○	農村公園	---	農業集落排水施設
—	農道(橋)整備	△	集会施設

掲載の計画図は略図です。実際とは多少位置が異なっています。

生産基盤
生活環境
を総合的に整備

宿地区で「ミニ総パ事業」に着手

昭和五十二年度から町が着手している大型事業の一つに、「農村基盤総合整備事業」があります。これは、集落を単位としてほ場整備や農道整備などの農業生産基盤の整備と、集落道整備や集落排水整備などの農村生活環境の整備を総合的に実施し、健全で近代的な農村地域社会を建設しようとするもので、一般には「ミニ総パ事業」と呼ばれています。

今年度は
四千四百万円で
ほ場整備を

この事業は、大琴を中心とする宿地区(大琴、舟木、宿、下吹、畑村、杉森、沼の各部落)に実施されるもので、本年度では、農業生産基盤の整備事業として上の台地区のほ場整備(九・七畝)が、事業費四千四百十万円で行われています。

- 事業は、昭和五十五年度までの四か年度計画で行われるもので、上の計画図に見るよう、
- ・ほ場整備 — 二か所(十六・二畝)
 - ・農業用排水施設(用水路揚水機) — 六か所
 - ・農道整備 — 七か所
 - ・農地開発 — 一か所
 - ・農用地改良 — 三か所
 - ・農業集落道整備 — 三か所
 - ・農村公園緑地整備 — 二か所

農業集落排水施設

— 二か所

・飲雑用水施設 — 一か所

・集会施設 — 一か所

が整備されるもので、事業計画時点で約三億一千万円の事業費が見込まれています。

町では明年度は、ほ場整備六・六畝、農業用排水施設として揚水機一基、用水路一本、集落道の改良舗装二か所を、あわせて五千百万円の事業費で実施する計画であり、現在、県に



表紙の
ことば

老方小学校では、十二月七日に来春入学が予定されている子どもたちを対象に、「一日入学」が行われました。

おかあさんたちに連れられて校門をくぐった子どもたちは、多少緊張した面持ちでしたが、そこは現代っ子、先生方の質問にはきはき答え元気なところを見せていました。

なお、全町で来春入学が予定されているのは、住吉小5人、玉米小21人、袖山小3人、老方小16人、蔵小19人、宿小9人の計73人です。

対して予算配分を強力に要請しています。

昭和55年度からは

「モデル事業」を計画

また、これとは別に町では、昭和五十五年度からの事業実施をメドに「農村総合整備モデル事業」の導入を計画しており、現在、その基本的構想となる「農村総合整備計画」の策定を急いでいます。

農村総合整備モデル事業は、約七か年で実施されるものであり、十二億円の総事業費が見込まれています。これは、農村地域と集落の生活環境を整備し、地域住民の福祉向上を行政区単位で総合的にすすめるもので、いわば「ミニ総パ事業」の大型版と解してもよいでしょう。

この二つの事業が完了すると、昭和六十年代の始めまでには、町内の大部分で農業の生産基盤が整備され、生活環境が一段と充実するはずと見られます。

新民生委員25人決まる

住民福祉のために活躍

町民生委員の任期が十一月三十日で満了となり、十二月一日付で、新しく二十五人の方(再任十九人、新任六人)が厚生大臣より委嘱されました。

民生委員は、各市町村ごとに「民生委員協議会」を組織しており、民生委員法によって設けられている機関です。各民生委員は、それぞれに担当区域内住民の生活状態等を審かにおき、保護が必要と思われる方や世帯のために、行政と一体となつて保護、指導を行うほか、社会福祉関係機関や事業にも積極的に協力することになっており、いわば「福祉行政の最先端で活躍する人たち」です。

民生委員は個人の人格を尊重し、その身上に関する秘密を守り、信条や性別、社会的な立場等によって差別したり、優先したりすることなく、すべての住民に公正に職務を遂行します。民生委員が調査等でお願ひに訪問した際には、積極的な協力が望まれています。

そのほか、民生委員は「心配ごと相談」にも応じていますので、生活のことや家族のことなど、悩んでいることを気軽に相談ください。

今回委嘱された民生委員は次の方々です。()内は担当区域。

任期は昭和五十五年十一月三十日までの三か年。

- ・横山広一(泡の淵、向田、智者鶴)
- ・佐藤テル(地下の沢)
- ・黒淵、葎沢
- ・長谷山長一(田代、石高)
- ・島山清(袖山大吹川、須郷)
- ・小野忠(時雨山、高戸屋、下小屋)
- ・小松長毅(須郷田、館合新田、館西)
- ・佐藤貞(新沢、宇戸坂)
- ・小番順(家の下、下小路八日町)
- ・大場六治郎(五海保、久保、板戸)
- ・工藤武雄

(山崎、松柴)

- ・佐藤守(祝沢、茂沢)
- ・加藤清(寺田、湯出野)
- ・小松幸子(下通、中通、上通)
- ・小松運次郎(横小路、新町、上里)
- ・小松サダミ(宮の前、島)
- ・太田千代三(蔵新田)
- ・阿部雪子(蔵)
- ・高橋ヒデ子(岩館、横渡)
- ・阿部次郎(野田、新処、十二の前)
- ・遠藤莊二郎(桂台、小倉、中ノ沢、高村)
- ・小松善次郎(黒沢、大台)
- ・梅津典男(大琴)
- ・畑山寅

(順不同 敬称略)

松(宿、下吹) ・ 畑山藤作(土場沢、高屋、沼) ・ 小松正慶(舟木、畑村、奥ヶ沢、杉森)

なお、協議会を代表する民生委員総務には遠藤莊二郎さん(小倉)が、副総務には小松正慶さん(畑村)と佐藤貞さん(宇戸坂)が、それぞれ選ばれました。

また、民生委員は「児童委員」も兼ねることになっており、児童や妊産婦等の生活や環境状態を審かにおき、その保護や保健、その他の福祉に関し、援助、指導をすることにもなっています。

黒淵診療所が完成

八日から診療を開始

九月から改築工事がすすめられていた黒淵診療所が先ごろ完成し、十二月八日から診療を開始しています。

黒淵診療所は、黒淵地区住民の健康管理と福祉の向上を図るため、昭和三十七年に開設されたものです。由利組合総合病院に経営を委託して、診療科目は内科、小児科、外科で、毎週月曜日午後と火、水、木、金の各曜日の

診療でスタートしました。その後、交通事情等の変化により医療機会が充実したことによって、昭和四十一年からは町直営の診療所になり、町内の開業医が毎週一回木曜日午後診療を行うようになって、今日に至っています。

しかし、建物の老朽化が激しく、地元住民の間では数年前から改築が望まれていました。

改築された診療所は、総面積八一・一五平方メートルで、診察室、待合室、看護婦室等があります。

町長日記

11/18 明年度の林道、治山予算の陳情のため林野庁。現今の林道事業は外材の無制限輸入、建築の木材使用率の低下、造林、製材のコストアップのため誠に逼迫した状況にある。昭和の初期、大東亜戦争後の一時期も林家にとつて苦しい時期であったが、現在の事情は構造的なものであるため内地材の需用の増大は早急には望めない状況にある。今、行政としてなすべきことは生産条件を少しでも有利にするため、造林補助(中核林業)、林道開設、治山事業の推進をしなければならぬ。

11/19 本荘高校下郷分校の創立三十年記念式。一すべての国民は、等しくその能力に應ずる教育を受ける機会を与えられなければならない(教育基本法第三条)高等学校に定時制課程を置くことができ(学校教育法第四十四条)。

下郷分校が開校したのは昭和二十三年八月十九日であった。今日まで五八〇名が巣立った。全日制に移行し、本年度をもって最後の定時制課程の生徒諸君が学び舎を後にする。現在在校生一五九名。がんばれ下郷分校。

11/26 知事と町村長の行政連絡会議。例年の行事であった。明年度の県政に関しての町村よりの要望と県が町村に對しての要請を懇談し合う会である。議題となったものは、市町村振興資金枠の拡大、過疎地域対策緊急措置法の延長、老人医療費の別立制度の設置、等十三項目について意見交換が行われた。水田利用再編対策については知事、農政部長より説明があった。

11/28 水田利用再編成について協議会を開く。協議員農協役員、農業委員、集落農場とゼミナールの代表の皆さんにお集まり願つて、情報の説明と意見交換を行う。

11/29/12/2 全国町村長大会、過疎連盟大会、山村振興大会、特別豪雪地域大会、簡易水道大会。農林省構造改善局に明年度の県予算について陳情、要望面積一第三換地区二八〇、第一換地区三四〇事業費二億六千四百万円。

12/6 全町の企業従業員を対象にした勤労感謝祭。第一次産業より二次、三次と産業の展開をみていくことは必然のコースであり、町内企業者の意欲創意と従業者の皆様の努力に敬意を表し、基幹産業の農林業と相俟つて東由利発展の柱として成長されることを祈念する。

今年のあゆみ

- 1月4日 二地区で新春座談会
- 6日 町消防団出初め式(於 東中)
- 7日 出かせぎ上京バスを運行
- ※ 出かせぎ者数八五五人
- 2月6日 町囲碁将棋大会(於 朋楽荘)
- 10日 出かせぎ留守家族懇談会(約三〇〇人の留守家族が参加)
- 20日 出かせぎ者短期農業研修(東京都西多摩郡瑞穂町の酪農、養豚農家を視察、一〇人が参加)
- 3月10日 第一回町議会定例会始まる(五十二年度一般会計当初予算一十二億八、八七六万四千元)
- 27日 第四回町卓球大会(総合優勝―玉米分館チーム)
- 4月1日 派遣社会教育主事畑山昭一氏着任
- 1日 町体育指導委員を委嘱(委員長には佐々木正輝さん)
- 1日 町教育委員会スポーツ主事を設置(小笠原慶悦さんを発令)
- 1日 農協が雇用保険の保険金払渡金融機関に指定される
- 23日 町農業委員選挙(無競争)
- 5月2日 雇用保険の事務指導開始(6日までの四日間)
- 18日 大吹川、沼、高村の三地区で「へき地診療所」を開設、スタート
- ※ 「古文書解説集」全巻まとまる
- ※ 放牧場開放(57頭を放牧)
- 6月9日 ヤングチャレンジセミナー始まる
- 16日 健康大学開講
- 26日 第六回全町球技大会(約三〇〇〇人の町民が参加)
- 29日 第二十二回町畜産共進会(出陳頭数66頭)
- 7月1日 高額療養費貸付制度開始
- 8日 「訪ソ青年の船」で三青年ソビエトへ(鈴木富士子さん、小野敦子)

昭和52年を
ふり返って

「不況」「物価高」と、暗い世相に始まった昭和五十二年も残すところあとわずか。あなたにとって今年はどうな一年であったでしょう。

町では、今年もいろいろなことがありました。

ほ場整備を中心とする農業生産基盤の整備をはじめ、環境整備、福祉の増進、教育の振興、総合開発センターの完成による社会教育施設の充実など、あらゆる面にまんべんなく力を注いできました。

そこで、今年の町勢の主な動向を今一度ふり返ってみて、新しい年の躍進を図っていききたいと考えます。



総合開発センターは 11月にオープン

解消を図るために、昭和50年、51年の2か年で改良が行われた館合バイパスは、本年8月にアスファルト舗装を行い全工事を完了しました。

延長 1,000m 幅員 9m 総工事費 2億 5,000万円

繁殖素牛の改良
島根牛 25頭導入

町内の肉用牛飼養頭数の増加に伴い、繁殖素牛の改良と系統の整理が大きな課題になってきています。

そこで町では、今年から3年で県外肉用牛飼養先進地から100頭を導入する計画です。今年9月16日から10日間にわたって職員を島根県に派遣し、25頭を導入しました。



中核林業総合施業
団地に認定される

— 10月1日 —

本町は総面積の約8割が山林原野であり、特に、森林資源の開発は町発展の不可欠要素の一つでもあります。

林野庁では、昭和51年に中核林業振興地域対策事業(中核林業)を発足しました。これは、安定的な林業経営を確立させるとともに、優良林業地帯を形成することを目的としており、200ha以上の総合施業団地を設定し、これに有利な補助を付し、計画的、組織的な林業を推進するものです。

本町でも、矢島町、由利町と一体となり「子吉川中核林業地域」として、その準備をすすめていましたが、10月1日に総合施業団地として県の認定を受けました。

「村報縮刷版」を
発刊

— 10月 —

広報(町報)は町の記録であり、生きた郷土史でもあります。

町では、昭和30年に旧村が合併して以来、昭和49年4月に町制を施行するまでの20年間の「東由利村報」を縮刷して一冊の本にまとめ、10月に発刊しました。

7月から約1か月にわたって購入希望の申し込みを受け付けたところ、町内の皆さんを始め、町内外から約550部の申し込みがあり、一冊2,000円で頒布しました。



総合開発センター
「有隣館」オープン

— 11月1日 —

総合開発センター(山村開発センター)は、昨年度と今年度の2か年度の計画で工事がすすめられ、11月1日にオープンしました。

センターでは、早くも11月2日に小野善久君(下小路)と小松知子さん(下通)の結婚式が行われたのを始め、11月中だけで結婚式4組、各種集会等が約20回行われるほどの盛況ぶりです。「有隣館」の呼称とともに町民の間に着実にとけ込んでおり、今後ますます高度に利用されていくことでしょう。

- 8日 黒淵診療所改築、オープン
- 5〜7日 生活文化・農業祭
- 12月1日 民生委員改選
- 11月1日 町教育長に進藤新氏就任
- 3日 町功労者表彰式(故田代寿治氏、小笠原武一氏、畠山子之吉氏、佐藤殿氏の四氏が受章)
- 10月1日 入院介護費支給制度スタート
- 9日 町社会福祉協議会役員改選(会長に小松町長)
- ※ 農免農道根小屋線の改良始まる
- ※ 第二次農業構造改善事業北部、中部地区に機械導入
- 30日 教育長佐々木君三氏退任
- 9月2日 町敬老会始まる(14日まで)
- 2日 部落長研修(湯沢市国民休暇村へ)
- 15日 第十回町民運動会(約三、二〇〇人が参加)
- 26日 国道一〇七号線改良期成同盟会総会(於 朋楽荘)
- 23日 町追悼式
- 16日 町民グラウンドオープン
- 10〜11日 技能講習会(型わく支保工の組立等作業主任者 50名受講)
- 3〜4日 技能講習会(ガス溶接、30人受講)
- 8月2日 町政モニター研修会(町内視察研修を実施)
- 27〜28日 八塩で「少年自然教室」を開設(57名の小学六年生が参加)
- 27日 佐藤久志さん「日中友好秋田県農業青年の翼」で中国へ
- 25日 宿小学校プールオープン
- 22日 県主催の教育懇談会開催
- 21日 町消防訓練大会(総合優勝―第五分団)
- 10日 大平射撃場拡充整備されオープン
- 10日 参議院議員選挙―投票率85・03%

さん、畠山基保さんが参加)

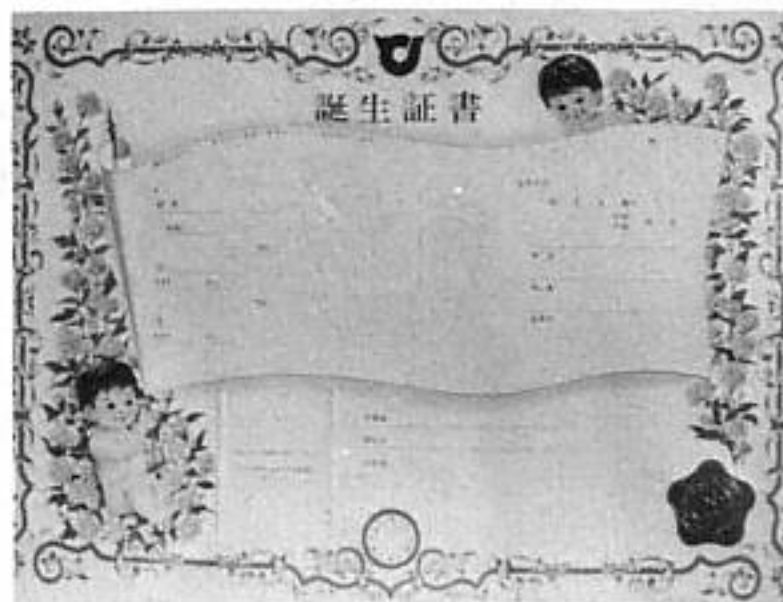
町消防団役員の任期は5月31日で満了になり、6月1日付で新役員が発令されました。

その結果、団長には佐藤力氏が再任されたほか、副団長には石渡力造氏と畠山淳悦氏がそれぞれ新任されました。

赤ちゃんに 誕生証書を

— 1月1日 —

赤ちゃんの誕生をお祝いし、将来の記念にさせていただくために、1月1日以降に出生の届け出をされた赤ちゃんに誕生証書を差し上げています。



大琴を中心に ミニ総パ事業を実施

— 5月 —

町が本年度から着手した大型事業の一つが「農村基盤総合整備事業」(略称ミニ総パ)です。

これは、集落を単位として農業生産の基盤整備と農村の生活環境の整備を総合的に進め農村の近代化を図るもので、大琴部落を中心とした宿地区に実施され、本年度では5月からほ場整備(9.7ha)を行っています。

事業は四か年計画であり、約3億1,000万円の総事業費が見込まれています。

町消防団 役員を改選

— 6月1日 —



レントゲン検診 受診率は89%

— 6月20日 —

結核検診(レントゲン検診)の第一次検診は6月20日から実施されました。

その結果によりますと、18歳以上の受診対象者4,385人に対して、受診した人は3,905人で、89%とまずまずの受診率でした。

しかし、第一次検診で精密検査の対象となった人の受診率が低く問題になっています。

「自分のからだです。各種検診はすすんで受けるようにしましょう。」



生活電話、架設に補助 13世帯が架設

— 7月 —

生活保護を受けている世帯や低所得世帯などを対象にして、電話の架設を希望する世帯に架設費の半額を補助する「生活電話、架設費補助制度」を町単独事業で実施。7月中旬に13世帯が架設しました。

湯出野遺跡を発掘 東日本で最大の 墓構群見つかる

— 8月8日 —

湯出野遺跡の発掘は8月8日から始め

られ、10月下旬に終了しました。

遺跡からは、東日本でも最大規模と言われる墓構群(103基)が確認され、耳飾りやまがたまなどの副葬品が出土したほか、遺跡全体から土器や石器類が多数発掘されました。

なお、遺跡は保存することがすでに決定しており、明年度に具体化される見通しです。



町成人式で 178人が大人の仲間入り

— 8月15日 —

今年の町成人式は、8月15日に東由利中学校体育館で行われました。

今年の該当者は、昭和31年4月2日から昭和32年4月1日までの間に生まれた方たちで、成人者全員に町長が直筆した成人証書が手渡され、178人が大人の仲間入りをしました。



交通渋滞を解消 館合バイパス完成

— 8月 —

館合地内の国道107号線は幅員が狭い上に急カーブが多く、特に冬期間は交通渋滞のネックになっていましたが、その

町民のひろば



町商工会 勤労感謝祭 盛會に

61優良従業員を表彰

町商工会（佐藤要次会長）では、十二月六日、有鄰館を会場に約四五〇人が参加して「勤労感謝祭」を盛大に行いました。これは、町内事業所従業員の慰安と親睦のために開かれたもので、席上、優良従業員として次の六十一人の方々が表彰され、佐藤会長から表彰状が贈られました。

- 〔株式会社大沼組〕 遠藤慶之助
- ・寅田文治・畠山昭之助・大日向小一郎・遠藤ミワ・遠藤チヤ
- ・石綿アキノ・遠藤チヨミ
- 〔佐藤組〕 畑山慶治・村上耕一郎
- ・阿曾彦次・渡辺要一
- 〔柳沢建設〕 小笠原慶蔵・阿部ヒナ子
- 〔村上建設〕 小松富七・加藤清一
- ・斉藤フミ
- 〔長谷山建設〕 横山伸・長谷山丸
- 〔広川工務店〕 藤原新一・小野長一・小松キエ子
- 〔佐々木組〕 伊東トミエ・浅田タカ子
- 〔株式会社興北協和〕 高橋幸年・遠藤美記
- ・雄・遠藤利夫
- 〔小番製材所〕 安倍太吉
- ・巖石幸一郎・佐藤マツ
- 〔阿部製材所〕 伊東喜代治
- 〔有限会社マルテール秋田〕 遠藤安太郎・佐々木孝蔵
- ・小松為治郎・小松勝之助
- ・林キヨ子
- ・遠藤ハチ子
- ・佐藤ユキ子
- 〔株式会社大



表彰を受けた優良従業員のみなさん

- 〔株式会社大沼組〕 遠藤慶之助
- ・寅田文治・畠山昭之助・大日向小一郎・遠藤ミワ・遠藤チヤ
- ・石綿アキノ・遠藤チヨミ
- 〔佐藤組〕 畑山慶治・村上耕一郎
- ・阿曾彦次・渡辺要一
- 〔柳沢建設〕 小笠原慶蔵・阿部ヒナ子
- 〔村上建設〕 小松富七・加藤清一
- ・斉藤フミ
- 〔長谷山建設〕 横山伸・長谷山丸
- 〔広川工務店〕 藤原新一・小野長一・小松キエ子
- 〔佐々木組〕 伊東トミエ・浅田タカ子
- 〔株式会社興北協和〕 高橋幸年・遠藤美記
- ・雄・遠藤利夫
- 〔小番製材所〕 安倍太吉
- ・巖石幸一郎・佐藤マツ
- 〔阿部製材所〕 伊東喜代治
- 〔有限会社マルテール秋田〕 遠藤安太郎・佐々木孝蔵
- ・小松為治郎・小松勝之助
- ・林キヨ子
- ・遠藤ハチ子
- ・佐藤ユキ子
- 〔株式会社大

町の概要

人口総数	6,521人
うち男	3,197人
うち女	3,324人
世帯主	1,480戸
面積	148.51km ²

(52. 12. 1現在)

自衛隊生徒を募集

来春卒業の中学生諸君へ
防衛庁では、ただ今陸・海・空の自衛隊生徒を募集しています。教育期間は四か年で、卒業と同時に三等陸（海・空）曹に任命され、高等学校の卒業資格が取得できます。また、教育期間中は特別職の国家公務員として待遇され、学資、食費等は無料で、初任給八万五百円が支給されます。志願要領は、次のとおりです。

走れ!! 青春



畑山英子さん
(宇戸坂)
四人姉妹の二番目
昭和29年7月28日
(役場勤務)

- ◇ 日常生活の中でモットーとしているようなことは……。
 - ◎ モットーと言えるかどうか分かりませんが、職場でも家庭でも、「常に明るく過ごしたい」と心がけています。
 - ◇ 今一番やってみたいことは何ですか。
 - ◎ 読書が好きなので、その時間をじっくりほしい。
 - ◇ 君にとって「青春の実感」とは何だろう。
 - 友だちと交歓し合い、友情をあたため合えるとき……かな。
 - ◇ 現在の東由利青年の姿（生活）をどうとらえています。
 - ◎ （「私もそうですが」と前置きして）自分は自分、は他人、という人が多く、横のつながりが薄いみたい。
- ※ 自分にとって一番大切なことは親を大切にすることと、言う彼女、明るく、しっかりした感じの娘さんでした。
(インタビューー 小松)
- 17回にわたって連載してまいりました「走れ!!青春」は、今回をもって終了させていただきます。期間中ご協力をいただきました皆様に心からお礼申し上げます。なお、次回からは「好きだから」を24回にわたって連載の予定です。ご期待ください。

佐藤徳市さん

全国簡易水道協会会長 表彰を受ける

十二月一日、東京都千代田区の砂防会館で行われた「第二十二回簡易水道整備促進全国大会」において、簡易水道の普及等に特に功績のあつた全国の六十個人と四団体が厚生大臣、全国簡易水道協議会会長から表彰されました。

佐藤さんは、昭和三十一年四月に館簡易水道設置委員会が発足すると同時に委員に選任され、水道施設を竣工させる原動力になったほか、完成後も水道組合の理事、副組合長、組合長の伏設から維持、管理まで一貫して尽力され、簡易水道の普及に努められた功績が甚大であつたとして表彰されたものです。



佐藤徳市さん

善意

町社福へ二万円
横渡の伊東政太郎さんは、去る十一月十三日に行つた「還暦祝い」の記念として、町社会福祉協議会へ二万円を届けられました。